

100万回生きたねこ

原作・絵／佐野洋子（講談社刊） 脚色／久野由美 演出／ふじたあさや



- 登場人物
- ◆とらさま
 - ◆王家臣
 - ◆船乗り
 - ◆手品師
 - ◆どろぼう
 - ◆おばあさん
 - ◆女の子
 - ◆ねこたち
 - ◆白ねこ

©佐野洋子／講談社

文部科学省許可 社団法人 教育演劇研究協会



劇団 **たんぽぽ**

厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財 厚生労働省社会保障審議会推薦

100万回生きたねこ

原作・絵／佐野洋子（講談社刊） 脚色／久野由美 演出／ふじたあさや
音楽／遠山 裕 振付／佐久間尚美 美術・衣装／坂本真彩・山土井志麻
音響／山北史郎 制作／上保節子・久野由美

あるとき ねこは

王さまのねこで、

あるとき ねこは

船乗りのねこで、

またあるときは

手品師のねこで、

あるときは

どろぼうのねこ。

でも、ねこの命が

いちばん

かがやいたのは…。

100万回も生きて

100万回も死んだ

ふしぎなねこの

ものがたり。



生きる・・・

—— 上演にあたって ——

「はるのひ はるのひ うらうらと 照れば萌えますたんぼの…」

たんぼの綿毛が、小さな手の大きな拍手に支えられ、東へ西へ、南へ北へと舞いはじめて六十年がたちました。

わたしたちは、子どもたちにとってより身近な演劇をめざし、八年前に「100万回生きたねこ」を上演しました。

劇をご覧になる前に「大好きな作品だけど、テーマがむずかしいのでは？」と心配される先生もいらっしゃると思いますが、劇を見た子どもたちからは、「この劇を世界中の人に見てもらいたいと思います。今つらい思いをして自分の命をこの世から消そうとしている人にも自分の命の大切さがわかってもらえらると思います。」「一度しかない人生をせいっぱい生きようといわれた気がする。」などの感想文が寄せられました。

この「100万回生きたねこ」は佐野洋子さんの作品の中でも多く読まれている作品です。

子どもをとりまく暴力的な事件が次々と起こる昨今、「生きる」ということを、この作品を通して皆さんと考えていきたいと思っています。「生きる・・・」大変重いテーマですが、そんなテーマだからこそ愉快地に軽快に、そして慎重に子どもたちと話すことができたらという思いで取り組みました。

ところで、100万回生きたねこってどんなねこ？それはその日までの、お・た・の・し・み・・・。



る時、ある場所に、百万回生きたねこがいました。ねこは死んで生き返る

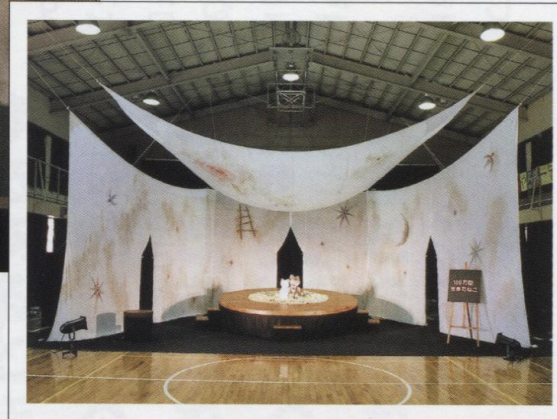
たびに、さまざまに人間に飼われませんが、ねこはみんなが大きらい。人間たちはねこが死んだ時に泣きました。が、ねこは一度も泣きませんでした。そんなある日、そのねこは、はじめてノラネコに生まれかわりました。他のノラネコたちは、このねこが大好きになりましたが、その中のたった一匹き、このねこに見むきもしない白いねこがいました……。



登場人物

- ◆ とらま
- ◆ 王家臣
- ◆ 船乗り
- ◆ 手品師
- ◆ どろぼ
- ◆ おぼあ
- ◆ 女の子
- ◆ ねこ
- ◆ 白ねこ





『100万回生きたねこ』は…

『100万回生きたねこ』は多くの人に愛され続けてきた絵本で、全国学校図書館協議会選定図書、中央児童福祉審議会推薦図書になっています。劇団たんぽぽでは1998年に初めて劇化し、ご好評をいただきました。生きること、命の大切さを描いたこの作品を、ぜひ子どもたちに届けたいと、新たなスタッフ・メンバーでつくりあげます！

劇団たんぽぽは……

「子ども達に夢を」。1946年、長野県篠ノ井で小百合葉子主宰の児童劇団として発足。リュックを背に巡回公演はじまる。1953年、静岡県浜松市に移る。1955年、山間僻地の子ども達への児童演劇の普及、公演を続けた公演活動を評価され文部省（当時）から公益法人格が許可され、社団法人教育演劇研究協会を設立。北海道から沖縄まで、主に小・中学校の演劇教室で公演。その他にも「教師のための朗読勉強会」や「教育現場での表現活動」「演劇ワークショップ」「クリスマスチャリティ公演」など、教育演劇研究協会としての働きが活発化している。



劇団 **たんぽぽ**

創立63年

北は北海道から南は沖縄まで37,000回公演！

文部科学省許可 社団法人 教育演劇研究協会

本

部〒435-0015 静岡県浜松市東区子安町323-3 ☎053-461-5395
<http://www.gekidan-tanpopo.com/> [Eメール] tanpopo@gekidan-tanpopo.com



劇団 **たんぽぽ**

長野県事務所〒390-0877 長野県松本市沢村3-4-21 ☎0263-36-6950

北海道事務所〒003-0863 札幌市白石区川下3条6丁目8-18 ☎011-873-3611

沖縄県事務所〒900-0005 那覇市天久2-25-9 ☎098-866-0529